

計算書類に関する注記

1 重要な会計方針

(1) 基本財産

基本財産は国債、県民債及び定期預金とする。

(2) 固定資産の減価償却

平成18年度に購入した車両運搬具の減価償却については、次の計算式

(定額法)により実施するものとする。

計算式 取得金額×0.9×0.25=減価償却額

要 件 耐用年数は4年とし、耐用年数経過後は5年均等償却とする。

(3) 資金の範囲は、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金を含める。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	3,543,790	3,830,113
未 収 金	0	48,000
前 払 金	278,265	51,726
合 計	3,822,055	3,929,839
未 払 金	0	1,985,210
前 受 金	2,089,600	881,400
合 計	2,089,600	2,866,610
次期繰越収支差額	1,732,455	1,063,229